

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35453
事業名	団地関連費					
評価担当課	所属名	都)市街地整備 総務課				
	課長名	飯田 敏之	担当者名	伊藤 晴奈	電話番号	011-211-2582
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input checked="" type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	団地の維持管理(除草等)、分譲促進活動(鑑定、企業訪問等)			
		長期	市で造成し、現在都市局が管理している団地(事業用定期借地)の全地分譲			
	取組内容	【目的】都市局が管理している団地の分譲と維持管理 【内容】住宅団地(篠路地区住宅団地)と3産業団地(札幌アートヴィレッジ・ハイテクヒル真栄団地・新川地区工業団地)の事業用定期借地を含む維持管理等を行う事業である。				
実施結果	団地の維持管理(除草・補修業務等)について、適正な管理を行うことが出来た。分譲について、令和3年度においては6宅地(約428,650千円)の分譲を行い、3宅地について分譲の確約を得た。					
事業実施における工夫点	団地の維持管理については、定期的な現地調査により、状況の変化を確認している。分譲については、定期借地権者を訪問し、分譲に向けた協議を行っている。					
対象者	事業用定期借地権者、団地入居者	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況	他都市においても、本市と同様の分譲を行っている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	29,443	27,314	24,207	19,866
うち特定財源	0	0	0	0
人工	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費	14,400	14,400	14,400	14,400
計(事業費+人件費)	43,843	41,714	38,607	34,266
事業費の内訳	令和3年度決算	①不動産鑑定料1,784千円 ②除草・修繕等1,735千円 ③測量等1,922千円 ④工事費17,766千円 ⑤その他業務費0円 ⑥事務費1,000千円 合計24,207千円		
	令和4年度予算	①不動産鑑定料3,000千円 ②除草・修繕等8,500千円 ③測量等3,550千円 ④工事費2,000千円 ⑤その他業務費1,000千円 ⑥事務費1,816千円 合計19,866千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	管理区画数(分筆、合筆等により変動するため分譲数と不一致)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	47	44	41	38	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名	分譲区画数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1	3	3	6	3	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	全ての団地について適正な維持管理を行ったほか、分譲についても、6区画(428, 650千円)の分譲を実施し、3区画の分譲確約を得た。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	既に造成済の団地についての事業であり、事業規模は適正。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	適正な維持管理と分譲促進が図られており、現在の手法を継続していく。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	団地の維持管理については、対象者のニーズに応えられている。 分譲内容については、相手方の意向を踏まえつつ、関係規定に基づき契約を行っている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	適切な公有財産の管理に向けて、関係部局と更なる連携を図る必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	分譲区画数について、分譲確約を含めると目標件数を達成した。なお、団地の維持管理については、適正な管理を実施できたと考えている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 管理している土地の分譲に向け、今後も定期借地権者への積極的な折衝等を行う必要がある。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 ● 縮小 <input type="checkbox"/> その他 団地の分譲が進み、分譲予定区画数が減少傾向にあるため、実態に即して予算規模を縮小していく。		見直し効果額	8,160